

2年社会（歴史）信長・秀吉・家康の政策をまとめよう 【解答例】

【学習のねらい】

信長・秀吉・家康の政策を調べてまとめ、比較することにより、政策がどのように変化したのかを理解する。

作業：教科書や資料集を見て、次の表をまとめてみよう。

	織田信長	豊臣秀吉	徳川家康
政治・ 経済	① 楽市・楽座 →座を廃止して、商人を安土に集めて、商業を発達させる。 ＝信長に税がたぐさん入る。	② 太閤検地 →土地の耕作者を定め、予想される収穫量を石高で表した。 刀狩 →百姓から刀や鉄砲を取り上げた。 ＝百姓と武士が分かれる。	③ 幕藩体制 →幕府と藩(はん)の力で全国の土地と民衆を支配した。 武家諸法度 →大名に対して城を作ることや、結婚するのに幕府の許可が必要だった。
宗教・ 貿易	④ <u>キリスト教を保護</u> する一方で、一向一揆や、比叡山延暦寺など、信長に従わない仏教勢力を武力で従わせた。	⑤ バテレン追放令 →キリスト教の布教が、ポルトガル・スペインの軍事力と結びついていると考え、 <u>宣教師を追放した</u> 。	⑥ 朱印船貿易 →貿易で利益を得るために、キリスト教布教を黙認していた。 2代秀忠以降は、 <u>キリスト教禁止の政策</u> をとるようになった。
その他 調べたい もの	⑦ 鉄砲の活用 例えば、長篠の戦いで鉄砲を使い、戦いを有利に進めた。	⑧ 朝鮮や東南アジアなど海外との貿易を進めた。 また、朝鮮や東南アジア、明の服属を求め、二度の朝鮮出兵を行った。	⑨ 外様大名を、江戸から遠いところへ配置し、反乱が起こってもすぐに江戸へ戦火が届かないようにした。

キリスト教に対して、
信長・秀吉・家康は
どのような政策を
行ったのかな？

【学習のまとめ】政治・経済、宗教、貿易のうちから1つ選び、政策がどのように変化したのかをまとめましょう。

例) 宗教

仏教勢力を武力でおさえていた信長は、キリスト教を保護した。しかし、秀吉は、バテレン追放令を出して宣教師を追放した。家康は、最初貿易の利益のためにキリスト教を黙認していたが、2代秀忠になると禁止して弾圧するようになった。

2年 組 番 氏名

【まとめるポイント】

1 政治・経済

- (1) 信長は、有力な戦国大名に対し鉄砲を使って戦いを有利にして自分の支配下に入れた。
 - (2) 信長の意志を継いだ秀吉は、全国を統一した。その際、太閤検地により、ますやものさし収穫高の単位などを統一した。
 - (3) 家康は、秀吉が整えた制度の下で、大名を支配する仕組みを作った。
- ※つまり、信長が秀吉の全国統一の下地を作り、秀吉が家康の江戸幕府の仕組み（身分制度や税の仕組み）などの基礎を作った。

2 宗教・貿易→キリスト教を軸にして、流れをまとめると分かりやすい。

- (1) 信長は、キリスト教を保護した。
 - (2) 秀吉は、キリスト教保護から宣教師追放に考え方が変わった。
 - (3) 江戸時代に入ると、2代秀忠以降、キリスト教の禁止令が出る。
島原・天草一揆以降は、幕府がキリスト教に対して厳しい態度をとった。
- ※キリスト教の政策は、貿易との関わりが強い。ポルトガル船の来航禁止以降は、幕府が鎖国により、キリスト教禁教、特定の国との貿易をするようになった。

3 その他調べたいもの

- (1) それぞれの人物の性格・エピソード
例) 「うつけ者の〇〇」→これは誰でしょうか？
「信長の草履を懐で暖めた〇〇」→これは誰でしょうか？
- (2) それぞれの人物の戦い方の比較
- (3) それぞれの人物の家族（妻・子どもなど）